平成27年度関東倶楽部対抗栃木第2会場予選競技 組み合わせ及びスタート時間表

(参加者 17倶楽部 ・ 136名)

期日：5月19日(火)

場所：鳥山城カントリークラブ 二の丸・三の丸コース

(18ホール・ストロークプレー)

関東ゴルフ連盟

1番(二の丸コース)よりスタート

Aクラス

組	時間	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部
1	7:30	小島 徹	ゴールド佐野	佐藤 友久	唐沢	小林 聡夫	ゴールデンレイクス	古澤 章司	ディアレイク
2	7:39	渡辺 勝秀	鳥山城	斉藤 修一	大日向	中村 一美	杉ノ郷	白石 忠信	大平台
3	7:48	大福根 孝司	鹿沼72	石川 清己	佐野	高村 守	新バークレイ	柏木 豪	サンレイク
4	7:57	小山 宣和	トムソン	稲田 一男	栃木	舟岡 誠	塩原	坂本 博	フウ月
5	8:06	角田 幸一郎	皐月・鹿沼	高田 進一	ゴールド佐野	国谷 賢吉	ゴールデンレイクス	中田 俊雄	鳥山城
6	8:15	大石 実	杉ノ郷	坂本 茂	鹿沼72	大和田 博	新バークレイ	西田 豊	トムソン
7	8:24	新津 淳	塩原	田村 利光	皐月・鹿沼	田中 文雄	唐沢	寺沢 洋	ディアレイク
8	8:33	薄井 富士雄	大日向	吉田 定男	大平台	真下 政夫	佐野	壺川 雅仁	サンレイク
9	8:42	大島 茂夫	栃木	和田 学	フウ月	金子 隆良	ゴールド佐野	辻 四郎	ディアレイク
10	8:51	松尾 康司	杉ノ郷	渋井 保夫	佐野	神原 佳充	トムソン	高倉 健一	フウ月
11	9:00	新井 道夫	唐沢	北澤 祐二	鳥山城	加藤 正	大平台	今北 民憲	新バークレイ
12	9:09	得能 三郎	栃木	安藤 誠	皐月・鹿沼	武藤 末治	ゴールデンレイクス	久保田 英樹	大日向
13	9:18	富澤 寛史	鹿沼72	奥田 直史	サンレイク	磯 誠一	塩原	加賀 章	ゴールド佐野
14	9:27	吉田 賢一	鳥山城	村山 周一	鹿沼72	池上 正人	トムソン	野澤 博行	皐月・鹿沼
15	9:36	長 芳弘	唐沢	亀田 郁夫	大日向	藤井 恒雄	佐野	御供 俊雄	栃木
16	9:45	矢吹 元良	ゴールデンレイクス	成 楽英	杉ノ郷	小林 均	新バークレイ	佐藤 幸由	塩原
17	9:54	北山 芳	ディアレイク	岡安 孝治	大平台	海野 智	サンレイク	大嶋 重人	フウ月

10番(三の丸コース)よりスタート

Bクラス

組	時間	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部
18	7:30	金子 隆	ゴールド佐野	鈴木 貴士	大日向	歌川 康広	新バークレイ	塩野目 規雄	フウ月
19	7:39	川島 美則	唐沢	伊藤 竜也	杉ノ郷	八文字 正美	サンレイク	山崎 唯普	皐月・鹿沼
20	7:48	染谷 功	ゴールデンレイクス	瀬口 卓	大平台	竹村 吉郎	トムソン	藤城 拓也	ディアレイク
21	7:57	柏崎 啓	鹿沼72	羽鳥 聡	栃木	添田 克彦	鳥山城	野口 政夫	佐野
22	8:06	相馬 義孝	塩原	服部 信高	ゴールド佐野	光延 青児	杉ノ郷	加藤 勉	トムソン
23	8:15	亀井 隆	唐沢	竹之内 秀一	大平台	鈴木 悟	栃木	小野 慶	ゴールデンレイクス
24	8:24	児矢野 政勝	鹿沼72	石井 淳二	塩原	高村 敏行	ディアレイク	難波 清	佐野
25	8:33	大橋 新一	フウ月	高橋 久雄	鳥山城	後藤 貴浩	新バークレイ	早坂 孝己	皐月・鹿沼
26	8:42	大村 孝之	大日向	坂田 正文	サンレイク	小川 悟	ゴールド佐野	西埜 誠洋	大平台
27	8:51	山口 司	塩原	相澤 久之	唐沢	坂本 光浩	鹿沼72	花井 源二郎	フウ月
28	9:00	原田 慶一郎	佐野	滝沢 真澄	ゴールデンレイクス	石井 昭浩	皐月・鹿沼	田嶋 英樹	ディアレイク
29	9:09	岩井 悟朗	新バークレイ	田所 靖浩	鳥山城	赤坂 明	サンレイク	稲沢 宏之	大日向
30	9:18	秋山 智正	トムソン	萩野 代幸	杉ノ郷	井上 勇	栃木	小島 春海	ゴールド佐野
31	9:27	堀口 守	皐月・鹿沼	小木 久	鹿沼72	麦倉 伊望	唐沢	遠藤 利也	佐野
32	9:36	木村 聖貴	ゴールデンレイクス	志田 勇	新バークレイ	野口 茂	ディアレイク	赤坂 秀志	サンレイク
33	9:45	坂本 和彦	鳥山城	福岡 雅人	トムソン	小峰 裕	大日向	片柳 正光	栃木
34	9:54	加藤 新一	杉ノ郷	本田 昌之	塩原	加藤 明夫	大平台	塩野目 満幸	フウ月

競技委員長 増田純男

平成 27 年度 関東倶楽部対抗栃木第 2 会場予選競技

開催日 : 5 月 19 日(火)

開催コース : 烏山城カントリークラブ 二の丸・三の丸コース

本競技は日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則とこのローカルルールと競技の条件を適用する。

本書に記載の無い事項や追加変更がある場合は競技規定やプレーヤーへの通知文書、または競技会場での掲示物に掲載されるので必ず参照すること。

ゴルフ規則によって別に定められている場合や本書に罰が記載されている場合を除き、このローカルルールと競技の条件の違反の罰は、「2 打」とする。

ローカルルール

1. アウトオブバウンズ(規則 27-1)

アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する。但し、9 番ホールグリーン奥のアウトオブバウンズの境界は白色プレートをもって標示する。

2. ラテラル・ウォーターハザード(規則 26-1)

ラテラル・ウォーターハザードは赤杭または赤線をもってその限界を標示する。線と杭が併用されている場合は線がその限界を標示する。

3. 修理地(規則 25-1)

修理地は青杭を立て、白線をもってその限界を定める。ただし、次のものを含む。

パッティンググリーンの前後のペイントマークを含み、スルーザグリーンの芝草を短く刈った区域にあるヤーデージマーキングペイント(スタンスへの障害は除く)。

4. 動かさない障害物(規則 24-2)

(a) 排水溝

(b) 人工の表面を持つ道路に接した排水溝(その道路の一部とみなす)

(c) 動かさない障害物と白線でつながれている区域(その動かさない障害物の一部とみなす)

5. コースと不可分の部分

ウォーターハザード内にある人工の壁や杭でできた構造物。

距離表

HoleNo.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	OUT
AクラスYards	394	358	517	147	508	381	347	159	384	3195
BクラスYards	412	380	543	177	534	413	378	182	403	3422
Par	4	4	5	3	5	4	4	3	4	36

10	11	12	13	14	15	16	17	18	IN	TOTAL
375	145	351	362	529	418	174	512	345	3211	6406
395	164	382	382	529	438	194	557	363	3404	6826
4	3	4	4	5	4	3	5	4	36	72

競技の条件

1. 参加資格

プレーヤーは競技規定に定められた参加資格を満たさなければならない。

2. 委員会の裁定

委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。

3. 使用クラブの規格

『適合ドライバーヘッドリストの条件・付属規則 I(C)1a』を適用する(ゴルフ規則 174 ページ参照)。

4. 使用球の規格

『公認球リストの条件・付属規則 I(C)1b』を適用する(ゴルフ規則 175 ページ参照)。

5. ゴルフシューズ

正規のラウンド中、プレーヤーが金属製・セラミック製、または委員会がそれと同等と認めた鋳を有するゴルフシューズを使用することを禁止する。この条件の違反の罰は競技失格。

6. プレーの中断と再開

(1) 通常のプレーの中断(落雷などの危険を伴わない気象状況)については、規則 6-8b、c、d に従って処置すること。

(2) 険悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレー中断となった場合、同じ組のプレーヤー全員がホールとホールの間をいたときは、各プレーヤーは委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。1 ホールのプレーの途中であったときは、各プレーヤーはすぐにプレーを中断しなければならない。そのあと、委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。プレーヤーがすぐにプレーを中断しなかったときは、規則 33-7 に決められているような罰を免除する正当な事情がなければ、そのプレーヤーは**競技失格**となる。

険悪な状況による中断中は、委員会がオープンと宣言するまで、すべての練習施設はクローズとなる。クローズとなった練習施設で練習しているプレーヤーは練習を止めるように要請される。その要請に従わなかった場合、参加を取消しとすることがある。

(3) プレーの中断と再開の合図について

通常のプレー中断 : 短いサイレンを繰り返して通報する。

険悪な気象状況による即時中断 : 1 回の長いサイレンを鳴らして通報する。

プレーの再開 : 1 回の長いサイレンを鳴らして通報する。

と同時に、本部より競技委員を通じてプレーヤーに連絡する。

7. 練習

ホールとホールの間での練習を禁止する(規則 7-2 注 2)『付属規則 I(C)5b』(ゴルフ規則 179 ページ参照)。

8. キャディー(規則 6-4 注)

正規のラウンド中、プレーヤーが委員会によって指定された者以外をキャディーとして使用することを禁止する。この条件の違反の罰は『付属規則 I(C)2』を適用する(ゴルフ規則 177 ページ参照)。

9. 競技終了時点

競技委員長の成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。

注意事項

1. 競技の条件 5 項において規制されるシューズ以外でもパッティンググリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。
2. 予備グリーンは定義上「目的外のパッティンググリーン」であり、球が目的外のパッティンググリーン上にある場合、プレーヤーは規則 25-3 に基づいて救済を受けなければならない。
3. 競技委員会は競技中を含めいつでも、出場にふさわしくないと判断したプレーヤーの参加資格を取り消すことができる。
4. 打放し練習場においては備付けの球を使用し、スタート前の練習は 1 倶楽部 8 箱を限度とする。

競技委員長 増田純男